

2 年 D 組 技術・家庭科(家庭分野) 題材設計・学習指導案

指導者 土手 佳代

1 日時(場所) 12 月 13 日(月) 10:50~11:40 (2 年 D 組教室)

2 題材設計(題材名:安全で快適な住まい)

(1) 本単元で育成したい自立と共生の力

- 物事を多様な観点から捉え、問題の本質を見抜く力
- 問題の解決に向け、自ら考え、見通しをもって行動する力
- 解決の過程や結果を振り返って修正・改善する力

(2) 題材目標

- 家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能や、家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解することができる。 「知識及び技能」
- 家族の安全を考えた住空間の整え方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践案を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決することができる。 「思考, 判断, 表現力等」
- 家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする。 「学びに向かう力, 人間性等」

(3) 重点目標

<本質的な問い>

家族が安全で快適に住まうために、どのような工夫が必要だろう。

<永続的な理解>

住まいには自然災害などから命を守る、心身の健康を維持する等の働きがあり、人間らしく生き、家族の生命と生活を守る器として大変重要な役割がある。そのため、住まいは住まう人にとって安全であるとともに、快適である必要があり、家族や社会の変化に合わせて、よりよい住空間に整えていくことが大切である。また、大地震や自然災害などから身を守るためには、安全な住まい方や地域、環境とのつながりを意識した住まい方が不可欠である。

(4) 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・家族の生活と住空間との関わり、住居の基本的な機能について理解している。 ・家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。	家族の安全を考えた住空間の整え方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践案を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

(5) 評価の方法

パフォーマンス課題	その他の評価方法
あなたは愛田家の A さんです。祖母は転倒して右ひざを骨折し、手術のため入院中です。車庫部分を増築して祖母の寝室を作ることになりました。家庭科の学習を生かして、祖母の寝室プランを立て、家族会議で提案をします。退院後、祖母が安全で快適に過ごせるように、祖母の身体的特徴、趣味、南海トラフ巨大地震への対策などを考慮して寝室の計画を立てなさい。	○ワークシート、 OPP シートの記述 ○実力テスト

<パフォーマンス課題についてのルーブリック>

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	高齢者の身体的な特徴や、地震対策について理解し、祖母の安全や快適性を考えた住空間の整え方や将来についても配慮した解決策を構想することができる。	計画を評価・改善し、論理的に表現するなどして、工夫の意図が明確に示されており、課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現に向けて、自分の生活と結び付けて課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
B	高齢者の身体的な特徴や、地震対策について理解し、祖母の安全を考えた住空間の整え方について解決策を構想することができる。	計画を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
C	(支援)ワークシートや高齢者体験などの既習事項を振り返らせながら、解決方法を考えるよう助言する。	(支援)ワークシートや既習事項を振り返らせながら、解決方法を考えるよう助言する。	(支援)既習事項や自分の生活をふり返らせ、解決方法を考えるよう助言する。

(6) 指導計画 (全 11 時間)

次	時数	ねらい・学習内容	重点	記録	評価規準(評価方法)
1	1	・住まいの役割と住空間の機能について知り、よりよい住生活について考える。	知 思		・住まいの基本的な機能について理解し、よりよい住生活について問題を見いだして課題を設定している。 (ワークシート, OPP シート)
	1	・家族と住空間の関わりや、和式と洋式の住空間の特徴を理解できる。	知		・家族と住空間の関わりや、和式と洋式の住空間の特徴を理解している。 (ワークシート)
2	1	・家族の安全を考えた家庭内事故の防ぎ方や室内環境の整え方について理解し、安全な住空間を整えることが適切に工夫できる。	知 思	○	・家族の立場に立って家庭内事故を予測し、安全な室内環境の整え方について理解しているとともに、安全な住空間になるよう工夫している。 (ワークシート)
	1	・幼児や高齢者の疑似体験を通して身体的特徴を理解し、家庭内事故の防ぎ方やよりよい関わり方を実践しようとしている。	知 態	○	・幼児や高齢者の身体的特徴を理解し、事故を想定して具体的な対策を工夫したり、よりよい関わり方を実践しようとしたりしている。 (ワークシート, 行動観察)
	2	・自然災害に備えるための住空間の整え方や家族に合わせた備えの必要性について理解し、適切に工夫できる。	知 思		・自然災害(地震)による被害を想定し、家族の安全を考えた住空間の整え方を理解するとともに、家具の配置や固定、非常持ち出し品や備蓄などの災害への備えなどの住まい方を工夫している。 (ワークシート)
3	2	パフォーマンス課題 ・祖母の寝室を安全で快適な空間になるよう適切に工夫し、論理的に表現できる。	知 思 態	○ ○ ○	・高齢者の身体的な特徴や、地震対策について理解し安全で快適な住空間の整え方について解決策を構想できる。 ・計画を論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。(パフォーマンス課題)
	3 本時 その2	<u>生活の課題と実践</u> 課題と実践① 課題設定・調査 課題と実践② 計画・立案・見直し 課題と実践③ 実践発表(実践は家庭で)	思 態	○ ○	・自分や我が家の住空間の整え方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践案を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題解決に向けて工夫している。 ・課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 (実践レポート)

3 本題材と研究主題との関わり

(1) 生徒について

本学級の生徒(男子 16 名・女子 15 名)は、学習に前向きに取り組み、課題に対して意欲的に取り組むことができる。家庭分野の学習において、住生活について生徒が自ら考えたり整えたりすることはあまりないため、食生活や衣生活ほど関心は高くない。そのため、住まいについて課題を見付けたり、家族のために問題を解決したりしていこうという意識も、あまり高くないというのが現状である。また、家庭内事故に対して、成長期で体力もある中学生にとって、必要感については乏しいというのが実情である。これから生活の主体者となる生徒たちにとって、実感をもって学び、自分の生活を振り返って問題を見付け、解決に向かって工夫する学習は重要であると考ええる。

(2) 題材について

住まいは、幼児や高齢者などの様々な年齢で構成される家族が共に暮らす場所であり、それぞれの家族が安全で快適な生活を送れるようにすることが必要である。高齢化が進む日本では、家庭内事故死の発生が多く、交通事故死を超えているという実態がある。また、大地震やゲリラ豪雨といった自然災害の増加に伴い、住まいの災害対策への関心は高まっている。このようなことから、自分の家族の安全を考えた室内環境の整え方や災害への備えを検討し、自分の力で住生活を工夫する実践力を身に付けさせることが必要である。本題材では、自分を取り巻く住まいに目を向け、自分の問題として住まい方を見直し、安全で快適な生活を送るために工夫し、実践する力を付けることが大切である。

(3) 「深い学び」の実現に向けた指導の工夫について

家庭分野において「深い学び」とは、生徒自らが生活に関心を持ち、生活する上で直面する様々な問題の解決に向けて、知識及び技能を活用して解決方法を考えたり、自分なりの新しい方法を創造したりするなど、学んだことを実際の生活の中で生かすことができる実践力を養う学びであると考ええる。しかし、生徒にとっては現在の生活が当たり前であって、課題意識を持つ機会は少ない。そのため、「深い学び」を実現するために以下のような指導の工夫を行う。

ア 学びを生活につなぐ学習過程の工夫

学習題材の初めに、「住まい」についてイメージマップを作成したり、住まいの役割について考えさせたりする。そのことから自分の住まいや住まいでの活動をふり返らせたり、自分の生活の問題に気付かせたりしながら、課題を立てていく。課題解決に必要な知識・技能の習得の場面〔生徒を育てる段階〕、問題解決的な学習(工夫・活用)の場面〔生徒が育つ段階〕、自己の課題発見と解決に向けて実践計画を立てる場面〔生徒が伸びる段階〕を設定し、学んだ知識や技術が有効に取り入れられるように学習過程を工夫する。また、高齢者体験などの体験活動を通して、実感を持った理解につなげたい。学びログ(OPP シート)を活用し、自分の課題解決に向けての手立てとする。

イ 状況(場面)設定の工夫

題材を通して共通のモデル家族とその住まいを設定し、題材を展開していく。モデル家族の中学生や高齢者、幼児などの視点に立たせて、その家族の住まいについて課題解決的な学習やパフォーマンス課題に取り組ませる。様々な視点に立って課題解決に取り組むことによって、単なる知識・技能の活用だけでなく、他者、自然、地域・社会との共生に向けた解決方法を導き、深い学び合いになるようにする。また、パフォーマンス課題については、学んだ知識や知恵を活用させて論理的に思考し判断しながら問題解決をさせる。

学習の最後に、「生活の課題と実践」を取り入れ、自分の家族の住まいの課題解決に向けて実践方法を計画・検討させ、家庭での実践につなげる。モデル家族から自分の住まいに戻し、改めて我が家の課題解決に向けて計画を立て、実践させる。その際には、「健康・快適・安全」の見方・考え方に、「協力・協働」の見方・考え方も加え、家族と協働で取り組む機会とさせたい。

4 本時の指導(10/11 時間)

(1) 主題

我が家の住まいの課題を解決するために、どのような実践や調査が必要だろう

(2) ねらい

○我が家の住空間の課題解決に向けて計画を立てたり、調べたりしたことを論理的に表現している。

○我が家の課題解決に向けて実践計画を立てたり、振り返って改善したりして、主体的に取り組もうとしている。

(3) 展開

学習活動(形態)	時間	学 習 の 流 れ			○指導の工夫 ◎評価規準(評価方法)						
		分かる	考える	実行する							
1 学習課題の確認をする。(全体)	5	我が家の住まいの課題を解決するために、どのような実践や調査が必要だろう			○資料の共有をしやすくさせるために、「我が家の課題解決」実践計画はタブレット端末に提出させておく。 ○相互評価をすることで、それぞれの実践計画の良さを認めたり、改善につなげたりする。 ◎我が家の住空間の課題解決に向けて計画を立てたり、調べたりしたことを論理的に表現している。(行動観察, レポート) ◎我が家の課題解決に向けて実践計画を立てたり、振り返って改善したりして、主体的に取り組もうとしている。(レポート)						
2 実践計画の発表を行う。(グループ)	20	生活の課題と実践「我が家の課題解決」の実践計画の発表とアドバイスをを行う。 <table><tr><td>防災 ・地震対策</td><td>・家具を固定するために我が家にあった固定の方法や正しい固定の仕方を調べる。 ・家具がベッドに倒れてこないように配置や向きを変える。 ・食器棚に飛散防止フィルムを貼る。など</td></tr><tr><td>防災 ・持ち出し袋や備蓄 ・水害対策 ・避難</td><td>・中身を確認して必要なものを追加する。 ・一次持ち出し品と二次持ち出し品とに分けて保存箇所を検討する。 ・水害にどのような備えが必要か調べる。 ・マンションに必要な対策や避難について調べて備える。</td></tr><tr><td>健康・快適</td><td>・エアコンの効率が良くなるように窓やドアからの隙間風を防ぐ方法を考える。 ・暖房器具の効果的な使い方を実践する。</td></tr></table>				防災 ・地震対策	・家具を固定するために我が家にあった固定の方法や正しい固定の仕方を調べる。 ・家具がベッドに倒れてこないように配置や向きを変える。 ・食器棚に飛散防止フィルムを貼る。など	防災 ・持ち出し袋や備蓄 ・水害対策 ・避難	・中身を確認して必要なものを追加する。 ・一次持ち出し品と二次持ち出し品とに分けて保存箇所を検討する。 ・水害にどのような備えが必要か調べる。 ・マンションに必要な対策や避難について調べて備える。	健康・快適	・エアコンの効率が良くなるように窓やドアからの隙間風を防ぐ方法を考える。 ・暖房器具の効果的な使い方を実践する。
防災 ・地震対策	・家具を固定するために我が家にあった固定の方法や正しい固定の仕方を調べる。 ・家具がベッドに倒れてこないように配置や向きを変える。 ・食器棚に飛散防止フィルムを貼る。など										
防災 ・持ち出し袋や備蓄 ・水害対策 ・避難	・中身を確認して必要なものを追加する。 ・一次持ち出し品と二次持ち出し品とに分けて保存箇所を検討する。 ・水害にどのような備えが必要か調べる。 ・マンションに必要な対策や避難について調べて備える。										
健康・快適	・エアコンの効率が良くなるように窓やドアからの隙間風を防ぐ方法を考える。 ・暖房器具の効果的な使い方を実践する。										
3 実践計画を修正する。(個人)	10	アドバイスをもとに、実践計画の修正をする。									
4 本時のまとめをする。(全体)	10	我が家の課題を解決するために必要な実践や調査が分かる。 ・安く買える防災グッズを探して、予算を抑えて実践しやすくする。 ・家族会議を開いて、我が家に合う家具の固定の方法や持ち出し袋に入れるものを検討したい。 ・固定の正しい止め方について十分理解してから実践したい。									
5 本時の学習を振り返る。(個人)	5	本時を振り返る。									
授業研究の視点	○学習過程の工夫や状況(場面)設定は、自分事として課題意識を持ち、解決に向けて取り組もうとする実践力につながっているか。										